

平成23年度事業計画

豊田市国際交流協会（Toyota International Association: TIA）は、昭和63年10月の設立以来、「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生を三本柱とし、地域の国際化を推進しております。さらに平成23年4月からは、愛知県より公益認定を受けて、公益財団法人豊田市国際交流協会として新たな一歩を踏み出すことになりました。

経済情勢は若干好転の兆しも見えてきましたが、まだまだ厳しい状況が続いています。平成23年度も外国人の皆様への就労や就学を支援するため緊急日本語講座や外国人子弟教育支援事業等を継続して実施してまいります。また、3年目となる10月1日の「国際の日」の事業を市民の皆様にとって有意義なものとなりますよう一層の充実を図ってまいります。さらに、グローバルスクエアに来ることが難しい小学校のために、小学生の国際理解教育学校招待プログラムを各学校に出向いて行う等、新たな取組も始めてまいります。

また、公益財団法人へ移行するにあたり、より多くの市民の皆様のご理解とご支援をいただきたく、賛助会員制度を新たに設けてまいります。そしてボランティアの皆様とともに多様な事業を展開し、地域の国際化のさらなる発展を目指してまいります。

公益目的事業1

地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

（1）国際親善使節の受入れ

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。下記以外の団体から申入れがあれば随時検討の上、受け入れる。

ア ウェイン州立大学

米国デトロイト市の大学で日本語を学ぶ学生が豊田市内でホームステイをしながら、市内の工場見学、豊田市表敬訪問等を行う。

時 期 平成23年6月（予定）

受入人数 5人程度

イ 桜花学園大学留学生

韓国ウソン大学より桜花学園大学に留学中の学生を市内のボランティア家庭で受け入れる。

時 期 平成23年11月（予定）

受入人数 5人程度

ウ International Educators to Japan（IEJ）プログラム受入れ

海外進出日系企業の駐在員子弟を受け入れている現地公立学校の教師を日本

に招待するプログラムへの協力。デトロイト市などからの教師を豊田市で受け入れ、ホームステイ、市内の学校訪問等を実施する。

時 期 平成23年6月（予定）

受入人数 15人程度

エ World Campus International（WCI）受入れ

前身である Up With People の精神を引き継ぎ、ホームステイや地域活動などを通じて参加者の国際感覚やボランティア精神、リーダーシップ能力を養うとともに、市民との国際交流の場を提供する。

時 期 平成23年8月（予定）

受入人数 20人程度

オ デトロイト姉妹都市交流交換学生受入れ

豊田市の姉妹都市であるデトロイト市の交換学生の受入れに対する協力。ホームステイ、表敬訪問、市内の施設見学、学校訪問を通し、豊田市や日本に対する理解を深めるためのプログラムや市民交流プログラムを提供する。

時 期 平成23年7月（予定）

受入人数 10人程度

(2) ナショナルデーの開催

とよたグローバルスクエアにて、世界各国の文化や生活を紹介する機会を年12回（月1回程度）、日曜日の午後に設ける。在住外国人や市民にボランティア活動の場を提供し、市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

(3) 「国際の日」事業の開催

TIAが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるよう各種の事業を行う。

ア 多文化共生推進討論会

多文化共生に関する最新の話題について専門家を交えて、多文化共生社会における必要な施策についての議論を行う。

時 期 平成23年10月1日（土）

イ とよたグローバルステージ（仮称）

国際交流・国際理解をテーマにした多文化ステージと広場を開設する。

時 期 平成23年10月1日（土）

ウ 「私の国際」フォトコンテスト

青少年を対象に“一人ひとりが考える国際”を撮影した写真のコンテストと展示、発表会を行うことで、国際についてともに考え、また市民の関心を高める機会とする。

時 期 平成23年10月2日（日）

エ 世界のことばカードの配布

国際の日の給食に合わせて、様々な国の言葉のカードを小中学生に配布する。

時 期 平成23年9月（予定）

オ 市内観光モデルコースの作成と紹介

来訪外国人がいつでも、一人でも楽しむことができる観光モデルコースを作成・紹介する。

カ 多文化カレンダーの作成

外国人住民との共生を促進するため「多文化カレンダー」を作成し、相互理解を図る。

キ 国際の日パネル展

国際交流や多文化共生に取り組むボランティアやNPO法人等の活動を紹介するパネル展を開催する。

時 期 平成23年10月1日（土）～2日（日）

(4) 地域の国際交流に関するイベント等への協力・支援事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体とともに開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討の上実施する。

(5) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会開催事業

JICAと連携し、海外ボランティアに興味を持つ市民への情報提供の場とする。年に2回開催。シニアや日系ボランティアについても対応する。

時 期 平成23年4月2日（土）

平成23年10月（予定）

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動等の支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

国際交流、国際理解教育、多文化共生の分野で活動したいと考えている人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図る。

- | | |
|--------------|--|
| ・個人ボランティア | 通訳・翻訳
交流企画・推進ボランティア
情報発信ボランティア
ホームステイ・ホームビジット |
| ・グループボランティア | |
| 国際交流 | オープンハート、日本文化紹介 |
| 国際協力 | ほづみ会 |
| 在住外国人との交流・支援 | E-IFF、日本語サロン、
Alpha日本語教室、
日本語教室はじめのいっぽ
英語ボランティアGLOBE（新規）
華豊中国語教室（新規） |
| 学習・情報提供 | ひらがなういずゆー、
海外生活体験者グループ |

(2) ボランティア意見交換会の開催

TIAの事業展開状況、ボランティアグループの活動状況の情報共有、また意見交換を通じ、課題解決に向けて開催。TIAの諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すとともに、ボランティア活動環境の整備に努める。

(3) 市内の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組が行われている国際理解教育プログラムについて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行い、国際理解教育を推進する。また依頼に応じ、市職員や一般市民を対象とした国際理解教育講座を企画・開催する。

(4) 子ども英語交流補助ボランティア

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣する。

時 期 平成23年5月～随時

対 象 18歳以上で普通自動車運転免許を持っており、子どもに英語でのコミュニケーションや発音指導をしてくれる市民

(5) 国際理解教育セミナー

人権や平和など地球規模の問題への理解を深め、解決のため実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした、参加体験型のセミナーを行う。

開催頻度 年3回程度

(6) 外国語講座

ア ハンゲル講座

注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルのハンゲルを学ぶ。昼間講座と夜間講座を実施する。

時 期 前期：平成23年5月10日（火）～9月13日（火）
後期：平成23年10月～平成24年3月

イ 中国語講座

市内外国人登録人数が第2位であり、注目が高まる中国の文化理解を図るとともに、日本人と中国人の友好親善のきっかけづくりの場とする。

時 期 前期：平成23年4月19日（火）～7月12日（火）
後期：平成23年10月～平成24年2月

ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語講座を開催することで市民のラテンアメリカ諸国に対する理解を進める。

時 期 未定

エ その他外国語講座

上記以外の外国語講座について、市民のニーズや講師の確保に応じて選択し、いずれも3か月を1ターム程度で開催する。

時 期 未定 ポルトガル語ほか2講座

(7) 小学生国際理解教育学校招待プログラム

市内の小学生に対して国際理解教育を実施する。国際理解教育に詳しい大学生を中心とした市民グループが授業の運営を行う。各小学校からの申込を受け、グループとスケジュールを調整し実施する。今年度から要請のあった小学校へはグループの派遣も行う。

対 象 市立小学校の児童
(4年生～6年生、平成23年度は10校を予定)

会 場 とよたグローバルスクエア、または各小学校

(8) 草の根の国際交流の推進

市民団体やボランティア団体等が実施する国際交流事業、国際協力事業、多文化共生事業等に対し、後援、助成を始めとした支援を行う。

内 容 とよた国際交流市民会議の開催

時 期 平成23年4月～平成24年3月の間で随時

(9) 国際交流市民事業助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力を目的とした新規事業への支援を行う。また、案内を多言語で行い、外国人グループの活動の発掘、活性化も図る。

募集期間 平成23年4月1日(金)～12月25日(日)

対象 平成24年3月末日までに実施・完了し、実績報告まで可能な事業

(10) 自主サークル・後援団体への支援事業

協会に所属している自主サークルや後援団体に対する活動場所の提供や、自主活動希望者に対するオリエンテーションの実施、新規サークル立ち上げに関する相談・助言、研修案内及び協会のホームページや市広報を通じた活動PRへの協力等を行う。

(11) とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応をする。さらに、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としても、とよたグローバルスクエアを運営する。

ア ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために、必要とする図書、雑誌、新聞、資料、ビデオ等を収集・提供する。

イ 公衆インターネット端末、無線LANの設置

多言語対応公衆インターネット端末と無線LANを活用し、とよたグローバルスクエアを訪れる多くの外国人や市民への情報提供サービスの向上を図る。

ウ 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとする。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供する。

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語講座

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施する。

時期 前期：平成23年4月9日～9月17日 毎週土曜日全20回

後期：平成23年10月～平成24年3月 毎週土曜日全20回
ク ラ ス 入門～初級レベルの4クラス 各クラス20人程度

(2) 緊急日本語講座

経済不況により、求職中の外国人労働者を対象に基礎的な、及び今後のキャリアアップにつながるような日本語が身につく学習の場を提供する。平成22年度に試行的に設置した夜間クラスへのニーズが高く、平成23年度も引き続き夜間教室を開設する。同様にニーズの高かった中級レベルの講座を開講し、広く受講生の要望やニーズに対応する。

時 期 平成23年4月12日（火）～ 毎週火、木、金曜日
人 数 20人×3レベル（入門・初級・中級 曜日別に設置）
×2クラス（昼・夜） 120人

(3) 外国人多言語相談事業

各種団体と連携しながら、外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりを推進する。平成23年度は雇用状況の悪化に伴い急増している外国人からの相談対応と求職者の雇用創出を目的に、引き続き、ポルトガル語相談、中国語相談、英語相談を実施する。

(4) 通訳派遣事業

外国人住民が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に通訳者を派遣する。また、増加する企業やホテルなどからの依頼に対しても、緊急のケースに限り有料で派遣する。通訳人材バンクでは、ボランティアの更なる確保と対応言語の充実に努める。

(5) 翻訳事業

市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、翻訳者を確保する。増加する至急の翻訳依頼に対応できるよう、対応スタッフの整備を進める。

(6) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保を図り、多言語の登録者の更なる増加につなげる。また、登録ボランティアとの連携を視野に入れながら、外国人防災体制の整備に寄与できるような取組も同時に進めていく。

時 期 未定
対 象 日本語及び外国語でコミュニケーションができる市民

(7) とよた日本語学習支援システム支援事業

平成20年度より開始された「とよた日本語学習支援システム」（豊田市から名古屋大学への委託事業）のシステムコーディネーターへの活動場所を提供するとと

もに、豊田市と協力しながら、外国人住民に対する日本語学習の支援を実施する。

(8) 外国人子弟教育支援事業

不況により、学習支援の場を求める子どもたちの入室が増加傾向にあるNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを雇用し派遣することにより、外国人を含む子どもたち全体の教育環境の改善に努める。

時 期	平成23年4月～平成24年3月
派遣対象	保見地区で外国人の子どもの学習支援を行うNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスなど

公益目的事業4

国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する事業

(1) T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行する。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A賛助会員、関係者及びボランティア等に配布する。

発行回数	年4回(5月、8月、11月、2月)
発行部数	3,000部/1回

(2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報紙に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数	24回(毎号掲載)
発行部数	約159,000部/1回

(3) T I Aホームページの運営

多言語による情報提供について、外国語に堪能な相談員を活用し、提供できる情報の量と質の拡充を図る。特に生活に役立つ情報や観光情報など外部の機関と連携して情報収集を進める。

管理部門

平成23年4月、新しい公益財団法人への移行に伴い、賛助会員制度を新たに導入し、協会の財政基盤の強化を図るとともに、より多くの人に協会を認知してもらい、地域の国際化推進に多くの人に関わってもらえるようPRを行う。

また、平成23年4月の市の派遣職員1人の引揚げに伴い特別任用職員1人を新たに採用し、移行後の業務の進展と円滑な事業遂行に努める。

その他 ボランティアグループなどの活動計画

T I Aは各グループに対し、活動環境の整備と必要な個別の支援を実施する。

(1) 国際交流

ア オープンハート

各種ホームステイにおけるコーディネートを行う。

ウエイン州立大学（米国デトロイト市）

桜花学園大学留学生（韓国）

W C I

デトロイト姉妹都市交流交換学生

イ 日本文化紹介

外国人への日本文化（茶道・書道・華道・着付け・折り紙等）を体験する機会を常時提供する。年に1度の日本文化体験デーや季節の行事にちなんだ料理教室を開催する。

(2) 国際協力

ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座・タイ語教室を実施する。

(3) 在住外国人との交流・支援

ア E-I F F

英語サロンの開催、外国人向け市内観光モデルコースの作成、英語によるガイドツアーを企画・実施する。その他随時通訳・翻訳活動を展開する。

イ 日本語サロン

毎週水曜日の日本語教室開催する。また、学習者のための託児、子育て支援を行う。

時 期 前期 平成23年4月13日～9月中旬

後期 平成23年10月～3月

ウ A l p h a 日本語教室

毎週日曜日の日本語教室を開催するとともに、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（もちつき、おいでんまつりへの参加など）を実施する。

時 期 平成23年5月8日～7月31日

平成23年9月～12月

平成24年1月～4月

エ 日本語教室はじめのいっぽ

毎週日曜日に入門・初級レベルに特化した日本語教室を実施する。

時 期 前期 平成23年4月～9月

後期 平成23年10月～平成24年3月

オ 英語ボランティアGLOBE（新規）

平成23年度より自主グループからボランティアグループとしての活動に移行。ナショナルデーなどで英語を使った国際交流活動の企画し、運営する。

カ 華豊中国語教室（新規）

平成23年度より自主グループからボランティアグループとしての活動に移行。子どもを対象にした中国語教室の開催の他、日本と中国の文化交流活動や中国語での相談にも対応する。

(4) 学習・情報提供

ア ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を3言語（ポルトガル語・英語・中国語）表記も含め提供する。年3回、1,300部発行。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布する。

イ 海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会）を年1回程度開催する。

(5) T I A自主サークル

ハンガール・スペイン語・ポルトガル語・中国語の既存の自主サークルの活動を支援するとともに、新たな自主サークルの設立に向けた支援を行う。